

## TICPOC D-I コース（ピアサポートワーカー研修コース）についてよくお問合せ頂くこと

### <応募条件>

- Q 他で勤務をしている場合、応募はできますか？
- A ご応募可能です。職種や一般就労・障害者枠での就労にかかわらず、日程調整が可能であればご応募可能です。以下の「内容」をご参照の上、ご検討ください。
- Q 生活保護を受給している場合、応募できますか？
- A ご応募可能です。健康診断・各種ワクチン接種・東大病院までの交通費等は自己負担となります。
- Q 応募の際に、他者の推薦や許可は必要ですか？
- A ご自身の意思によりご応募していただけます。主治医への許可や相談等は自由です。ご応募についても推薦書や診断書は必要ありません。
- Q 応募に際して、年齢制限はありますか？ 年齢が高いことは審査に影響しますか？
- A 18 歳以上の方はご応募いただくことが可能です。年齢は、審査において影響しないです。
- Q 精神保健福祉士などの専門職としての知識がまったくありませんが、応募できますか？
- A 専門職としての知識・資格は必要ありません。
- Q どのような診断名の方が対象となりますか？ 診断名の限定はありますか？
- A 診断名の限定はございません。また通院歴や入院のご経験等も問いません。
- Q 本研修は一般企業でピアサポートを広めていきたい人も対象者としていますか？
- A 主には精神保健分野（医療機関や障害福祉サービス事業所等）でピアサポートワーカーとして働く人を想定しています。しかしながら企業内でもピアサポートの感覚や関係性が広まることはとても重要だと思っておりますので、気になりましたらまずは気軽にご応募いただけますと幸いです。

### <内容>

- Q D-I コースの特徴・理念について、他のピアサポートワーカー養成との違いは何ですか？ 研修で目指す人材像はありますか？
- A 本コースでは約 1 年間をかけて（主に英国・米国で体系化されている）リカバリーやピアサポートの理念を参考にしながら、ディスカッションを通して他者理解・自己理解を深めること、実習があることが特徴です。特定の目指す人材像はございません。その人の強みを活かしていただけるようサポートさせていただきます。医療機関での研修ではありますが障害福祉サービス分野で働きたい方も対象として含んでいます。なお、次の URL 先にある小冊子から、本研修の意図や願いをお読み頂

けます。

- ◇ [https://co-production-training.net/wp/wp-content/themes/co-production-training/l.l/pdf/psw2203\\_0302\\_tachi.pdf](https://co-production-training.net/wp/wp-content/themes/co-production-training/l.l/pdf/psw2203_0302_tachi.pdf) (2022 年版)
- ◇ [https://co-production-training.net/wp/wp-content/themes/co-production-training/l.l/pdf/psw2024\\_0809\\_tachi.pdf](https://co-production-training.net/wp/wp-content/themes/co-production-training/l.l/pdf/psw2024_0809_tachi.pdf) (2024 年版)

Q 講座・実習実施は平日ですか？ 曜日の相談はできますか？

A 講座・実習実施は平日となります。

- 夏前までは週 1 回～2 週に 1 回、夏以降は週 1 回の予定です。
- 講座 1 回につき 2 時間程度+事務連絡等の時間をご都合頂いています。
- 講座の実施曜日は、研修生や院内都合を鑑みた上での相談とさせて頂いています。

2020～2022 年度はオンラインで講座を実施していました。

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を気に掛けながら、オンラインでの講座実施を主としつつも、実習前に複数回、東大病院に来て頂き研修を実施しています。

尚、実習時期は週 2～3 回程度東大病院に来ていただく事になります。

それらに加え、講座受講のレポート作成や講座振り返り等も実施しています。

研修(講座および実習)の実施日は予め、研修生のご都合等をお伺いしながら調整をします。

Q 遠方からのオンライン参加は可能ですか？

A オンラインによる講義については、ご参加可能です。

新型コロナウイルス感染症の終息状況によって、登院いただいた上で院内会議室での開催となります。なお、実習は東大病院に来ていただく必要があります。

Q 教科書はありますか？ 予習はできますか？

A 特に教科書はありません。講座毎に資料をお配りしています。それを用いた予習・復習等は可能かと思えます。

Q ピアサポーターや支援職としての実践経験があり、そこで葛藤を感じていますが、そのようなことも議論できますか？

A 講座や振り返りなどで、今までのご経験・葛藤について可能な範囲で共有いただき、参加者とお話し深め合うことができます。なお、右のカッコ内 URL より (<https://co-production-training.net/application-d/>) 修了生の感想を閲覧することが可能です。

Q 講座に一度や二度、出席できないことがあるかもしれない。そのときはどうなるのでしょうか？

A 補講(ただし講座そのものではなく、要点のみ)や、欠席された回のサポートをさせていただきます。

Q 一年間の中で仕事を持ちながら研修を受けるというのはどのようにやりくりすればいいのでしょうか？

A これまでの研修生の中にも仕事と研修を並行して続けられた方は居られ、職場の理解を得た上で、勤務調整などされていたようです。特に実習期間中は、まとまったお休みをとっていただけるとよいと思えます。レポートなどは、講座直後やお仕事のある日の前後、お仕事がお休みの日などに作成・

提出いただいています。

Q 自分の経験を共有したりすることは大事だと思っています。その際の、コミュニケーションを身に着けるような講座はあるのでしょうか？

A コミュニケーションについて、講座内で扱ったり、ロールプレイを行ったりすることもあります。コミュニケーションを主とした集中的な講座を行うというような予定はございません。本研修時間内で取り扱うことが出来ない部分への関心事については、ご自身が関心を持つ学びの会への参加など、積極的な自己学習を推奨しています。

Q 実習時間の開始・終了時間は、どれくらいでしょうか？

A 実習期間は概ね10月の3~4週間です。実習は平日の週3~4日程度となり、実習時間は9:00~17:00の間です。なお、1日の実習時間は日によりますが、半日程度から開始し、徐々に1日(9~17時)の流れを体験するように組むことが多いです。

Q 講座の実施時間は何時ごろでしょうか。夜の調整などもしていただけますか？

A 講座実施時間は平日昼間となり、夜の実施はありません。時間の具体については研修生やスタッフの都合を含めた上での相談となりますが、例年、10時~12時に講座実施とすることが多いです。

### <応募書類の郵送方法>

Q 郵送方法は、普通郵便でもよいですか。

A 可能です。ただし、到着時のご連絡はしていないことから、応募書類がきちんと届くかについてご確認されたい方は、追跡サービスのついた郵送方法(特定記録郵便、レターパックライトなど)をご利用ください。

### <合否連絡>

Q 合否はいつ頃わかりますか？

A 1次選考の合否通知の郵送時期は12月下旬を予定しています。  
また、1次選考合格者のみ、日程調整の上、2次面接を実施します。

### <コース修了後>

Q 雇用の斡旋等がありますか？

A 本コース終了後、雇用の斡旋はしていません。但し、求人情報等が入った場合には、お知らせすることが可能です。

Q 1年間の研修終了後にブラッシュアップ等の学びの場の用意はありますか？

A 現時点でブラッシュアップの講座は設けておりませんが、修了生には翌年度以降も本コースにご

参加していただくことが可能です(ご都合の良いときに任意参加)。

## <その他>

- Q 実習に際しての旅費や滞在費用は運営側から出るのでしょうか？  
A 旅費や滞在費用は受講生ご自身でご負担頂く形となります。
- Q 研修生になった場合は担当スタッフがつくのでしょうか？  
A 担当チューター制度はなく、D-I コーススタッフ複数名が受講生皆さんに関わらせていただきます。デイケアや福祉事業所等で利用者の方に担当スタッフの方が個別に関わられるような、いわゆる担当制はとっていません。
- Q 参加する研修生は緊張したり、挫折したりすることがあると思う。特に体調管理について心配がある。その辺りはどのような感じでしょうか？  
A 多くの方が同じように緊張や不安を感じると思います。自分自身の緊張や体調管理等についても、約一年間の学びの中で、自分を知るといふ学びにつなげることを意図していますが、予めご心配な点やご自身の対処法を教えていただいたり、対処法について一緒に考えたりすることも可能です。
- Q 年度の途中から研修に参加することはできますか？  
A できません。毎年、秋ごろに当事業のWEBサイト(<https://co-production-training.net/>)に次年度研修生募集についての案内を掲載しております。秋ごろに確認頂けますと、幸いです。
- Q 研修生としての、求める人物像を知りたいです。  
A 求める人物像については、募集要項やチラシをご覧ください。
- Q 講座・実習ごとのレポート作成や、研修修了時の研修まとめの発表があるとのことですが、パソコンが得意ではありません。パソコンの操作等について、サポートはしてもらえるのでしょうか？  
A 必要なパソコンスキルについてお伝えし、自主学習に役立つ本や動画を紹介します。
- Q 地域資源(福祉とのつながり等)の勉強はできますか？  
A 講座のひとつとして行うことも可能ですが、研修生それぞれが住まう地域の資源を重点的に行うには時間が足りないかも知れません。自己学習の範囲として、ご自身で積極的に学ぶことやそのお手伝いは可能な範囲で対応したいと考えています。